

【ロシア語】

読書案内

■原卓也監修『ロシア』新潮社（シリーズ「世界の歴史と文化」）—とりあえずロシアの歴史や文化について知りたいという方にお薦め。民族と宗教や、自然と地理、文化情報、市民生活の様子など、盛りだくさんで、参照には最適です。

■光文社古典新訳文庫—文学は苦手、とくにロシア文学は長すぎて…という方が多いと思いますが、光文社からシリーズで続々と古典の新訳が刊行され、ドストエフスキー作『カラマーゾフの兄弟』が今大変な人気で評判になっているのです。ドストエフスキーと並び称される文豪トルストイや、日本近代文学に影響を与えたツルゲーネフの作品から、落語風訳のゴーゴリ作品集、さらに、革命家トロツキーが人間レーニンを描いた『レーニン』なども同シリーズから出ています。文庫本を気軽に手に取ってみませんか。

■和田春樹『ロシア・ソ連』朝日新聞社（地域からの世界史 11）—とくに歴史に関心のある方には、コンパクトにロシア史の読めるものとしてお薦めします。

■沼野充義『スラブの真空』自由国民社—最近のロシア、旧ソ連ないし周辺諸民族の文学の動向についての案内です。最もコンパクトにロシア史を読める。同著者の『歴史としての社会主義の運命』（岩波新書）も必読。ロシア史を深く理解したければ、クリュチェフスキ『ロシア史講話』全5巻（恒文社）に挑戦してみてください。

■森安達也編『スラブ民族と東欧ロシア』山川出版社（民族の世界史 10）—ロシアが含まれるスラブ民族の文化全体についての案内です。日本で比較的知られることの少ないヨーロッパの東側を知ることで、世界がぐんと広がります。